

- ・思考を表現しようという意欲の高さを感じた。
- ・疑問に思ったこと、思っていたのと違う結果になってしまったことなどでも恐れずに、自分の考えを素直に表現できる雰囲気・安心感があった。
- ・自分の考えを素直に表現し合う中で、学ぶ楽しさを感じていると受け止めた。
- ・どの生徒の思考や行動にも目や耳を傾け、認めながら指導する姿勢が大変参考になった。
- ・問題に対して、ひとりひとりがきちんと自分の問題として向き合っている姿が印象的だった。
- ・他人の考え方を聞いたりすることで自分の考えを深めることを出来る柔軟さがあった。
- ・日々の授業でおこなってきたことがきちんとつながっていると感じた。
- ・導入の時間を多く取り、生徒の説明してみたい！という欲求を満たす課題だった。1度説明が終わったかのようにみせて、”これは一つの例にすぎないよね”という発問でさらに深い学びへとつながっていく、生徒の興味関心に耐えうる授業だったと感じた。ぜひ同じような説明を生徒達にやらせてみたいと思った。
- ・ノートのとりにかたがとても上手だった。ひとりひとり自由に気づいたことや振り返りを記入していて、自分の考えを深め広げるノートになっていた。
- ・先生の課題提示、生徒の発言のよさにふれる様子などを自校で紹介していきたい。
- ・同じ内容の授業（ねらい）であっても、子供が変われば進め方や支援の方法が変わることを実感した。特に帰国生クラスでは、一人一人のつぶやきや発言を大事にしながら、授業者が本当の狙いまで持って行こうとするとところなど、頭が下がる思いだった。
- ・生徒達が不思議に気づき、説明したくなる課題が素晴らしかった。
- ・生徒達の発言を丁寧に聞いてあげながらも、生徒達に問い返したり板書したりするものと、そっと伏せてしまうものに分けて対応し、発言を促しながら必要な選択をしていることが素晴らしい。
- ・生徒が自分の気づきを言葉に整理しながら、指示がなくても書き留めており、日頃から考えを書くことを行っていることがわかった。
- ・生徒が5×5のマスを美しく短時間でかける力そのものが、持っている力であると感じた。サッと書く力、指示を理解する力はともに普段の授業で身につけさせているのだと感じた。
- ・問題に対して、ひとりひとりがきちんと自分の問題として向き合っている姿が印象的だった。
- ・授業の目標や考えるべき内容を明確に示すことで生徒の取り組み方に違いが出てくることを改めて感じた。
- ・全校において、一つの生徒像を目指して生徒を育てている印象を受けた。
- ・CD科をA, B, Cの三つの領域に分けてアプローチしている点が、生徒にとっても教える側にとっても分かりやすく、参考にさせていただきたい。
- ・生徒達の自主的、積極的が発言やグループワークが素晴らしかった。
- ・先生方の指示が明確で、説明しすぎず、生徒とのやりとりのなかで授業を行っていくのがとてもいいと思った。
- ・社会の授業で、教師が見せたい資料をじっくり見せるために書画カメラを活用していたのがいい視覚支援だと感じた。
- ・どの授業もICTを取り入れ、生徒の関心を高めるような工夫をされていたことが印象的だった。
- ・3年の社会科の授業で、何度か同じ資料を見せていたのですが、先生が一声かけたことでその資料の見方がわかり、教室の中にざわめきが起こった。声かけが、中3の子供にも重要なのだとわかった。
- ・生徒がおもしろいと思う教材なので、意欲的に学習に取り組むことができ、そのことで生徒の発言も増え、生徒が主体となる授業展開でした。
- ・最初は全員答えが同じだが、途中から生徒の答えや考え方がズレていき、そこから文字式へと発展していくという授業展開がとても自然に行われていて、1時間の授業の流れや生徒に考えさせたいこと、生徒の発

想や考えを大切にしながらも、本時の学習内容に確実に迫っていくことができる教材研究が緻密に行われていると感じました。

・数学科の授業を3時間観察させていただきました。一般学級の授業は、中学1年の「方程式の利用」における「目から5円玉を何cm離すとその穴の大きさと満月が同じになるだろうか」という問題による、数学的モデル化の授業でした。特に、導入部分における「子どもの問題にする」ための発問・議論は、とても参考になりました。5円玉を拡大した具体物や実際の5円玉で、「目から月までの距離ではなく、5円玉から目までの距離が問題であること」を実感させることで、子どもの問題にしていく指導の工夫は、とても参考になりました。中1でこのような学習を経験しておく、後に生きてくるという3年間を見通した単元デザインについても、具体的に観ることができ、その重要性についてもお話を伺うことができ、大変勉強になりました。また、帰国生徒教育学級の授業では、子どもたちの素朴な反応や考えを豊富に観察することができ、また、それらを生かして生徒が学びを深める様子や、授業中における教師の評価活動も観察することもできました。最後に、授業者の先生と授業や3年間を通した指導の見通し等についてお話しする時間も設けていただき、大変有意義な時間となりました。すぐに役に立てられる内容と共に、授業に対する基本姿勢、態度、そして授業を改善する視点について等、多くのことを学ぶことができました。お忙しい中、授業をみせていただき、誠にありがとうございました。

・教員の問いかけに対し、生徒が積極的に答えていることに感心しました。教員と生徒のやりとりが自然な感じで、教員と生徒の関係の良さを感じられた授業でした。

・生徒の思考・発想を、ファシリテーターとして担当教員が話をさせる中で、重要になる言葉を上手に引き出しつないでいて参考になりました。作文力・表現力の高さに驚きました。

・子供たちの能力も高く、話し合いも活発でした。1人1人が主体的に活動しているのは大変勉強になりました。CD科での取り組みについてもよくわかりました。メディアの情報量が多い世の中なので、自分自身も楽しく参観させていただきました。

・ワザカードはとてもいい取り組みだと感心しました。メタ認知だけでなく、活用を考えさせるのを念頭に置いていることは素晴らしいと思いました。話し合いは学級、生徒の耕しをしっかりとやらないと教員が望む話し合いができなく、学級差がでるのですが、CDでどのクラスも同じように話し合いができ、対話的な学びから深い学びにつながっていると思いました。

・落ち着いた雰囲気の中で授業を行っていて素晴らしかったです。学習に対する生徒たちのレスポンスに感心するばかりです。日頃の各先生の取り組みが表れているのでしょうね。

・生徒が自分の経験をもとにしっかり考えを述べ合う姿がとてもすばらしいと思いました。CD科の学ぶべき点が多くあり、汎用的な資質・能力の育成に向けて価値のある時間だと思いました。ワザカードは今育てていきたい力を具体的に表現し、メタ認知できるカードだと思いました。

・書く力、話す力がCD科の積み重ねによりついていると感じました。子供たちが伸び伸びしていて、先生との関係も素晴らしいと思いました。

・自分たちの生活や社会との関わりをもった課題設定が素晴らしく感じました。授業での話し合いの様子からは、普段から積極的に「話す」ことで「まとめる」ということを行っている様子が伺えました。とても興味深い内容で楽しく参観させていただきました。

・CD科の基礎の授業がとても面白かったです。生きていくのに役立つ情報や考え方の視点を着実に育んでいけるように感じました。CD科の基礎の授業を行うことで、教科でもアクティブ・ラーニングが進みそうだなと感じ、ぜひ自分の学校でも取り入れていきたいとも思いました。

・授業形態が全体→個人→グループ→全体というように変化していくので、生徒の集中が途切れず活動できていた。また「データやグラフに要注意」の授業ではその時に学んだこと・気づいたことをすぐに活動に生かすような流れで、意欲や実践力が高まると思った。どの授業でも生徒の意欲や発言力が高く、自分の授業にも取り入れられるよう工夫しようと思った。

・校長先生のリーダーシップのもと、副校長先生はじめ先生方の教育に注いでおられる熱き思いがひしひしと伝わって参りました。特に「コミュニケーション・デザイン科」等の理論と実践について多くを学ぶことができ、本市各校の教育課程編成への大きな示唆をいただくことができました。

・前半のノートの活用に関する場面では、まず、生徒が友達のノートを実際に見ることにとっても意味があると感じました。先生も授業中おっしゃっていましたが、なかなか友達のノートを見るという機会は普段ないので、生徒も友達のノートが気になり、スクリーンをよく見ていました。また、その生徒のノートを基に、先生が評価・価値づけを行なうことで、先生が生徒に求めるものが、より具体的に伝わっていくのではないかと感じました。後半の関数の場面では、変数、変域、関数についての定性的な考察から具体へという内容でしたが、教科書の窓の問題を用いて、具体で考えそれを数学的に捉え、本時で押さえるべき変数、変域、関数の内容につなげていく流れがとてもスムーズで、生徒の中にも自然と内容が入っていくような展開でした。教科書の一つの問題の活用の仕方がとても参考になりました。また、最後に廊下でお話したときに、「1時間の中でそれぞれの生徒がお得感を感じられる授業」というお話をいただきました。「今学習している内容が高校や大学にどうつながっていくのか」、「日常の中で、どんな場面で活用されているのか」など、広い視点で教材を見ることの大切さも感じました。

今日の授業と先生とお話の中で、自分の中では授業に関する多くのヒントを得ることができたと思っています。そして、10日の研究協議会、今日の藤原先生の授業を参観させていただく中で、「授業力をもっと高めたい」と改めて強く思いました。少しずつ前進していければと思います。